

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年11月5日（木）
- 2 確認箇所
既設多核種除去設備
- 3 確認項目
既設多核種除去設備（A）及び（C）クロスフローフィルタ出口配管腐食孔の再発防止対策状況

4 確認結果の概要

7月9日に既設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタ2C二次側出口配管で腐食孔からの漏えい（前回確認日：令和2年7月10日）が発生し、その後の調査で同設備クロスフローフィルタ2C一次側出口配管及び既設多核種除去設備（A）クロスフローフィルタ2A一次側出口配管に腐食孔が発見された。

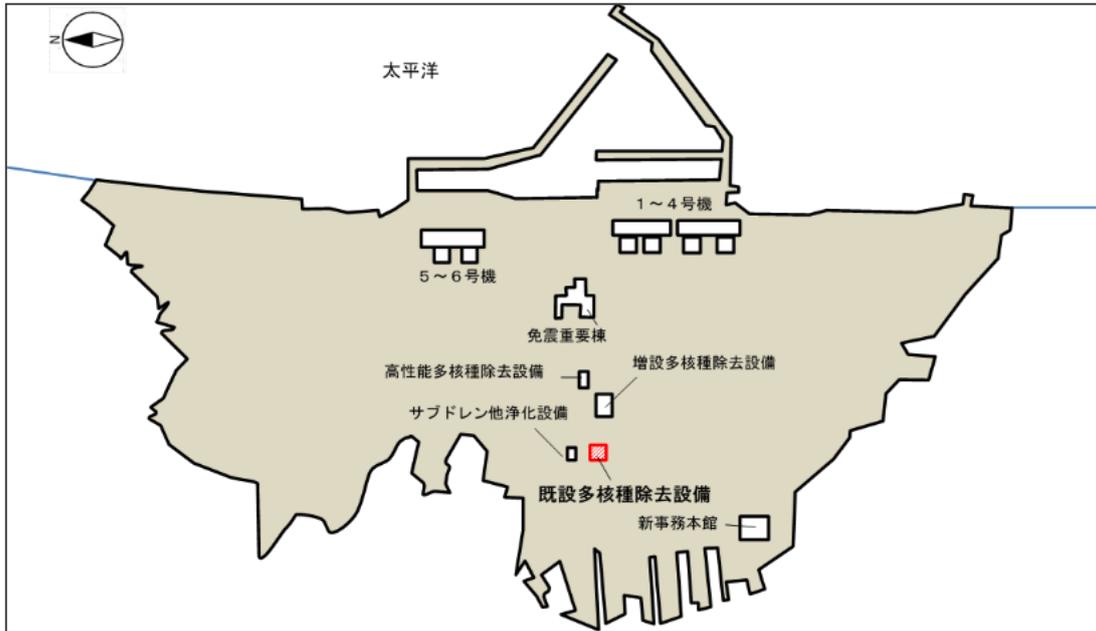
本日は、当該事象に係る再発防止対策等を東京電力から聴取すると共に、既設多核種除去設備の状況を確認した。（図1）

<聴取事項>

- ・腐食孔については、応急復旧として3箇所すべて配管の外側から補修剤による補修を行い、補修後に耐圧試験を行い、漏えいがないことを確認した。
- ・今後は同一仕様の配管を新規作成し、交換する予定。
- ・配管交換後は、取り外した配管について、腐食生成物の採取や断面観察等により腐食孔発生原因の調査を行い、恒久対策を検討する。

<現場確認結果>

- ・現場を確認したところ、既設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタでは、作業員が定例のパトロールを実施していた。（写真1）
- ・既設多核種除去設備（A）、（B）及び（C）クロスフローフィルタが設置されている遮へい材内を確認したところ、異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
パトロールの状況
懐中電灯で照らし、遮へい材内の状況を確認している

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。